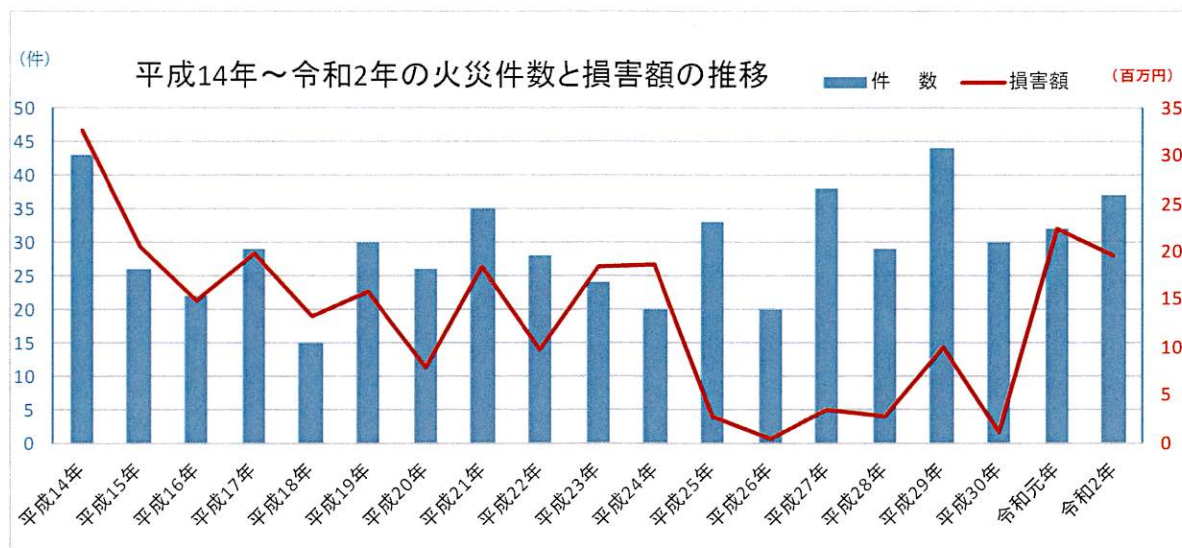




令和2年中の火災件数は37件で前年に比べ5件増加しました。過去5年の傾向として、増減を繰り返しながら年間約35件前後で推移しています。

損害額は19,494千円で、前年に比べ2,827千円減少しており、過去5年の傾向としては、増加傾向にあります。

令和2年 火災発生件数と損害額

種別	件数	金武町	恩納村	宜野座村	焼損面積 ㎡	損害額 千円
建物	5	2	2	1	172㎡	13,924
林野	20	11	7	2	120a	0
車両	4	0	4	0	4台	1,977
船舶	1	1	0	0	1隻	3,575
航空機	0	0	0	0	0	0
その他	7	6	1	0	58a	18
合計	37	20	14	3	-	19,494

令和2年 火災発生原因件数

発 生 原 因	実弾 訓練	火入れ・ ゴミ焼き	その他	不明 調査中	整備 不良	放火・ 放火疑い
件数	15	7	5	5	4	1

令和2年 罹災者と死傷者数

罹災世帯	罹災人員	死者	負傷者
1	3	0	1

令和2年 焼損棟数

全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
0	2	2	1	5

令和元年 火災発生件数と損害額

種別	件数	金武町	恩納村	宜野座村	焼損面積 ㎡	損害額 千円
建物	9	3	4	2	231㎡	21,594
林野	11	6	5	0	119a	59
車両	3	3	0	0	3台	530
船舶	0	0	0	0	0	0
航空機	0	0	0	0	0	0
その他	9	3	5	1	59a	138
合計	32	15	14	3	-	22,321

令和元年 火災発生原因件数

発 生 原 因	実弾 訓練	火入れ・ ゴミ焼き	その他	不明 調査中	整備 不良	放火・ 放火疑い
件数	8	7	12	2	0	4

令和元年 罹災者と死傷者数

罹災世帯	罹災人員	死者	負傷者
3	5	0	3

令和元年 焼損棟数

全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
2	0	3	4	9

令和2年の火災種別の構成比を見ると林野火災が全体の54%と過半数を占めております。その内キャンプ・ハンセン内の火災は75%に達しております。主な要因は林野火災であります。

損害額の減少の要因は、建物火災が前年と比較し4件減少したことが主な要因であると考えます。その他、特異事案として船舶火災(プレジャーボート:長さ約11m、部分焼)が1件発生、原因は電気系統からの出火であります。令和3年において「たき火・野焼き」を原因とする火災が依然として多いことから、「ゴミの屋外での焼却の禁止」や「畑の火入れ」に関する注意事項等を住民にさらに周知する必要があります。

全焼 焼き損害額が火災前の建物評価額の70%以上、又はこれ未満であっても補修加えて再使用不可のもの。

半焼 焼き損害額が火災前の建物評価額の20%以上のもの、全焼に該当しないもの。

部分焼 焼き損害額が火災前の建物評価額の20%未満のもので、ぼやに該当しないもの。

ぼや 焼き損害額が火災前の建物評価額の10%未満であり、焼損床面積が1平方m未満もの、または収容物のみ焼損したものをいいます。

令和2年 行政区別火災件数・損害額

金武町

行政区	建 物	林 野	車 両	航空機	船 舶	その他	件数・損害額(円)
中川						2 18,000	2 18,000
並里							
金武	2 66,000	9 0			1 3,575,000	3	15 3,641,000
伊芸		1 0					1 0
屋嘉		1 0				1	1 0
計	2 66,000	11 0			1 3,575,000	6 18,000	20 3,659,000

恩納村

行政区	建 物	林 野	車 両	航空機	船 舶	その他	件数・損害額
名嘉真			1 1,686,000				1 1,686,000
喜瀬武原							
安富祖			1				1 0
瀬良垣	1 1,239,000						1 1,239,000
太田							
恩納		5					5 0
南恩納			1 10,000				1 10,000
谷茶							
富着			1 281,000				1 281,000
前兼久							
仲泊							
山田		1					
真栄田		1				1	2 0
塩 屋	1						1 0
宇加地							
計	2 1,239,000	7	4 1,977,000			1	14 3,216,000

宜野座村

行政区	建 物	林 野	車 両	航空機	船 舶	その他	件数・損害額
松田							
宜野座		1					1 0
惣慶							
福山		1					1 0
漢那	1 12,619,000						1 12,619,000
城原							
計	1 12,619,000	2					3 12,619,000

令和2年 月別火災出動状況

※() はキャンプ・ハンセン内の林野火災(出動なし)。

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災件数	3 (1)	3	3 (2)	3 (2)	3 (1)	2 (2)	2 (1)	8 (4)	4 (1)	2	3 (1)	1	37 (15)
出動人員													
職員	22	31	2	5	10	0	10	36	16	10	13	11	166
団員	12	10	0	0	0	0	0	0	7	0	0	2	31

過去5年間の火災原因・発生件数

火災原因	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	計
ハンセン実弾訓練		10	9	5	8	15	47
火入れ・ゴミ焼き		4	11	8	7	7	37
不明・調査中		5	10	0	2	4	21
整備不良		5	3	3	0	5	16
放火・放火疑い		1	2	4	4	1	12
ガスオープン、コンロ			3	2	1		6
油鍋の加熱		1	2	2	1		6
たばこ			1	1	1	2	5
電気配線			1	1	1	1	4
自然発火				1	3		4
マフラーの輻射熱		1		2			3
車両衝突事故					2		2
工具の火花		1			1		2
線香の再燃		1	1				2
クレーン地絡						1	1
残り火処理不十分						1	1
ラジコンの墜落				1			1
電気ヒーターの消し忘れ			1				1
コンセントトラッキング					1		1
計		29	44	30	32	37	172